

漁業調査船建造事業

榎 純一郎, 西野 博, 漁業調査船くろしお

【目的】

漁業調査船「くろしお」(260トン)は、平成8年2月に建造され、令和元年度末で船齢24年を経過した。近年、船体や設備の老朽化が進んで故障が多発するようになり、安全運航や円滑な調査の遂行に支障を生じていた。

このため、水産資源の管理と持続的利用を推進するため、調査船「くろしお」の代船建造を行った。

【事業工程】

平成29年度 基本設計策定

平成30年度 詳細設計及び起工

令和元年度 詳細設計及び建造工事

【実施内容】

- 1 詳細設計協議及び工程会議
- 2 設計図書の精査及び修正指示並びに承認
- 3 工事監督及び検査
- 4 起工式（主催：前畑造船株式会社）
- 5 計量魚群探知機の購入（契約の相手方：日本海洋株式会社）
- 6 船名公募及び決定
- 7 進水式（主催：前畑造船株式会社）
- 8 旧くろしおの売却処分
- 9 竣工、完成検査

【結果】

- 1 計6回の詳細設計協議を行うと共に、随時工程会議を開催し、進捗管理を行った。
- 2 設計図書286部を精査し、532件の修正を指示の上、承認を行った。
- 3 船体、機器類のそれぞれについて、随時検査及び監督を実施した。
- 4 長崎県佐世保市（前畑造船株式会社）において、起工（平成30年10月29日）した。
- 5 一般競争入札により計量魚群探知機Simrad製EK80（2周波：38/120kHz）を購入、前畑造船株式会社へ支給し、同社が船底部ソナードームに設置した。
- 6 県内に住所を有する個人を対象に船名を公募し、応募があった439件、367案の船名について船名選定委員会で4案を選定し、最終的に県が「くろしお」に決定、公表（令和2年1月24日）した。〔入選者に対しては、賞状及び記念の楯を授与（令和2年3月31日）した。〕
- 7 長崎県佐世保市（前畑造船株式会社）において、進水（令和2年1月24日）した。
- 8 一般競争入札により旧くろしお（260トン）を売却（令和2年3月18日）した。
- 9 完成検査後、前畑造船株式会社から「くろしお」を受領（令和2年3月31日）した。



図1 船殻ブロック組み立て状況（船底）



図2 主機関出来高検査状況（IHI原動機製）



図3 上部構造物施工状況（船橋）



図4 軽量魚群探知機検査状況（Simrad製EK80）



図5 工事進捗状況（船体部塗装）



図6 進水式（支綱切断）



図7 進水



図8 試運転